保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   （ニ）消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   （ホ）本書のご提示がない場合
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
   （ト）本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   （チ）一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	Bluetooth/CD/MP3ステレオミニコンポ			★お買い上げ日：　　年　　月　　日
型　番	MCM-BT890N	品　番	07-6890	保証期間：本体1年間（お買い上げの日から）
お客様	★お名前　　様 ★ご住所　〒　　ー 電話　　（　　）			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話 ㊞			

（注）★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　**お客様相談室** へ

●通話料無料　0120-963-006　●携帯・IP・公衆電話からは　048-992-2735

電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　**修理ご相談センター**へ

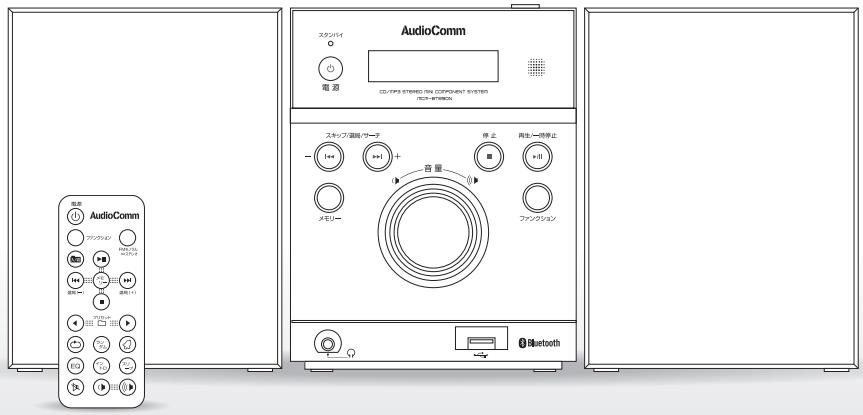
電話受付　048-992-3970　平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-6890A

AudioComm®

取扱説明書
保証書付

Bluetooth/CD/MP3ステレオミニコンポ
型番：MCM-BT890N　品番：07-6890



このたびは、AudioComm® Bluetooth/CD/MP3ステレオミニコンポをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目　次

免責事項…… 1
安全上のご注意 ……1～3
ご使用になる前に …… 4～5
Bluetooth機器使用に関する注意事項 …… 5
Bluetooth機器との接続可能範囲について …… 6
接続のしかた …… 6
電源について …… 7
リモコン用コイン型電池について …… 7
各部の名称…… 8
スタンバイモードについて …… 9
現在時刻を設定する …… 9
FMラジオを聴く …… 10～11
CD、USBメモリーの音楽を聴く …… 11～15
Bluetoothで音楽を聴く …… 16～17
外部機器の音楽を聴く ……17
タイマー …… 18～19
スマートフォンなどを充電する ……19
スリープ ……19
イコライザー ……19
ヘッドホンで聴くときは …… 20
故障かなと思ったら …… 20
主な仕様……21
お手入れのしかた …… 22
保証書とアフターサービスについて …… 22
保証書…… 裏表紙

免責事項　下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間及び経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 （左図の場合は感電注意が描かれています。）
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 （左図の場合は分解禁止が描かれています。）
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 （左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。）

⚠ 警告

 コンセントから抜く	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	 接触禁止	**雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない**
 コンセントから抜く	**万一、内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	 禁止	**表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない** ●火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**本機を分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。	 禁止	**本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない** ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
 禁止	**海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない** ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。	 禁止	**電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない** ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
 修理を依頼	**電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。	 禁止	**浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない** ●感電や故障の原因となります。

⚠ 注意

 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない** ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	 禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。
 禁止	**電源コードを熱器具に近づけない** ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	 濡れ手禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** ●感電の原因となることがあります。
 禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	 禁止	**電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない** ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグ部を持って抜いてください。

次ページに続く

⚠注意

コンセントから抜く	**お手入れの際や移動させるときは電源プラグをコンセントから抜く** ●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。	コンセントから抜く	**旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く** ●火災・液もれの原因となることがあります。
極性に注意	**リモコン用コイン型電池は極性表示(⊕⊖)に注意し、正しく入れる** ●電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	音量は小さく	**電源を入れた後、音楽などを再生する前には、音量を抑える** ●突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
禁止	**指定以外の電池は使わない** ●電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	注意	**乳幼児や子供に触れさせない** ●お子様がCD扉に手を入れないようにご注意ください。指を挟んだりして、けがの原因となることがあります。
禁止	**電磁波を発生させる機器(テレビ、モニターなど)に近づけない** ●電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。	掃除をする	**電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する** ●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 ●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。
禁止	**CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない** ●レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。		

電池を安全にお使いいただくために(リモコン用コイン型電池)

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない ・むき出しのまま、他の電池を混ぜて保管しない(保管するときや廃棄するときはビニルテープなどを貼って絶縁する)
⚠注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の電池を入れない ・使い切った電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

ご使用になる前に

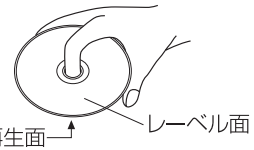
CDについて

結露について

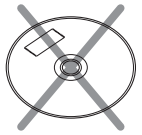
寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

ディスク取扱上の注意点

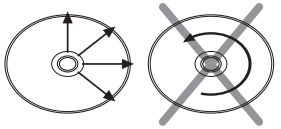
◆再生面に触れないように持ってください。



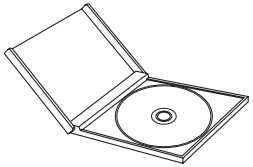
◆再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



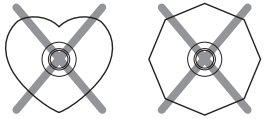
◆ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。



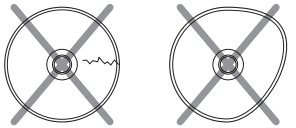
◆長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。



ディスク使用上の注意点



◆再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。

◆ディスクに COMPACT disc DIGITAL AUDIO CD SINGLE のマークが入ったものをご使用ください。

◆現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。
音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。
なお「コピーコントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

コピーコントロールCD
コピーコントロールCDのマーク

◆本機はCD-R／CD-RWの再生に対応していますが、以下の点をご注意ください。
・CD-R／CD-RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類・状態によっては、再生できなかったり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。
・ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。
・本機ではMP3形式の音楽ファイル(対応ビットレート:32～320kbps)を再生できます。それ以外の形式で圧縮された音楽ファイルの再生はできません。
・DRM(著作権保護)付きファイルは再生できません。

次ページに続く

USBメモリーについて

本機ではUSBメモリー内の音楽ファイルを再生して楽しむことができます。
USBメモリーは512GBまでサポートしていますが、以下の制限がありますのでご注意ください。
●対応ファイル形式／ MP3（32～320kbps）　※DRM（著作権保護）付きファイルは再生不可
●本機で再生できる容量は最大99フォルダー（最大8階層）／ 999ファイルまでです。
●読み取り不可能なメディアが装着された場合は「no」などと表示されます

MP3ファイルの読み込み順について

CD-R／RWやUSBメモリー内のMP3ファイルは、原則としてファイル名順に浅いフォルダー階層から深い階層へと順に読み込まれます。
※ファイルシステムの仕様上の違いやメディアの状態によって、読み込み順（再生順）が異なることがあります。
※読み取り不可能なファイルがあった場合は、再生が停止するか、そのファイルを飛ばして次のファイルへ移動します。
※フォルダーの階層構造やファイル形式の都合により、読み取れなかったり、フォルダー数や総曲数などが実際の数と違って表示されることがあります。

Bluetooth機器使用に関する注意事項

●病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
●本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
●自動車やエレベーターなど自動制御機器に影響が出る場合は、ただちに使用を中止してください。
●本機は、市販のBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。

医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

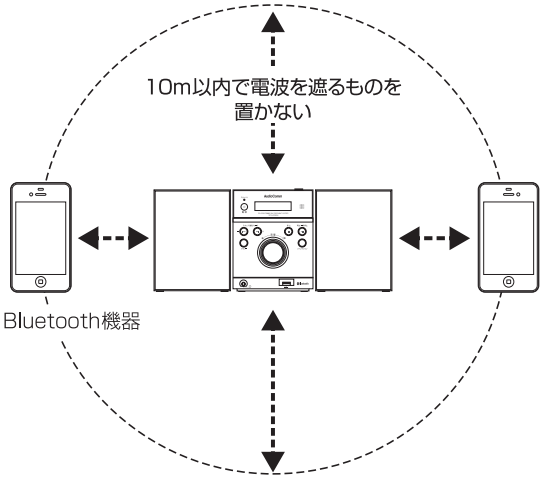
●医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
●混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
●医療機関内では次のことを守ってください。
・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には持ち込まない。
・病棟内では本機を使わない。　・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
・その他、医療機関による使用制限・使用禁止指示は必ず守る。
●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

Bluetoothの影響について

●本機が使用する周波数（2.4GHz帯）では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が適用されています。
●本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
●万一、本機から上記の無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか速やかに電源を切り、使用を中止してください。

Bluetooth機器との接続可能範囲について

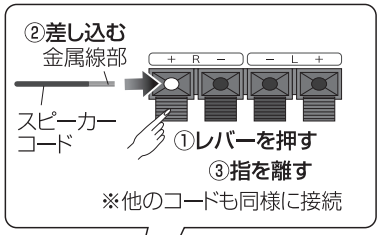
●本機とBluetooth機器（携帯電話、スマートフォン、Bluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなどの音源側の機器）との間で、電波を受信できる範囲は最大で約10mです（理論規格値であり、通信を保証するものではありません）。
●10m以内であっても、遮蔽物などがある場合や電波を発する他の機器がある場合は、正常に受信できないことがあります。再生音が乱れる場合はそれらの遮蔽物などを取り除いてください。
●本機を使うには、相手側のBluetooth機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、送信側の仕様により使えない機能がある場合があります。
●本機は防磁仕様ではありません。そのためテレビやモニターの近くに置くと、映像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビやモニターから離して設置してください。

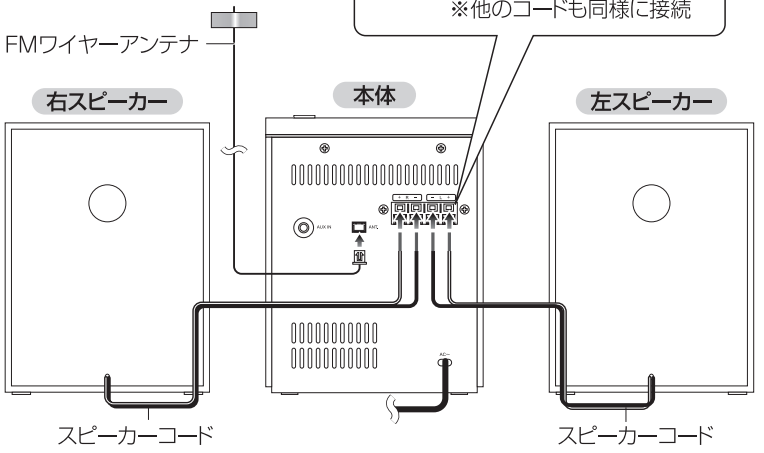


接続のしかた

ご注意 必ず電源を切り、家庭用コンセントからプラグを抜いた状態で行ってください。

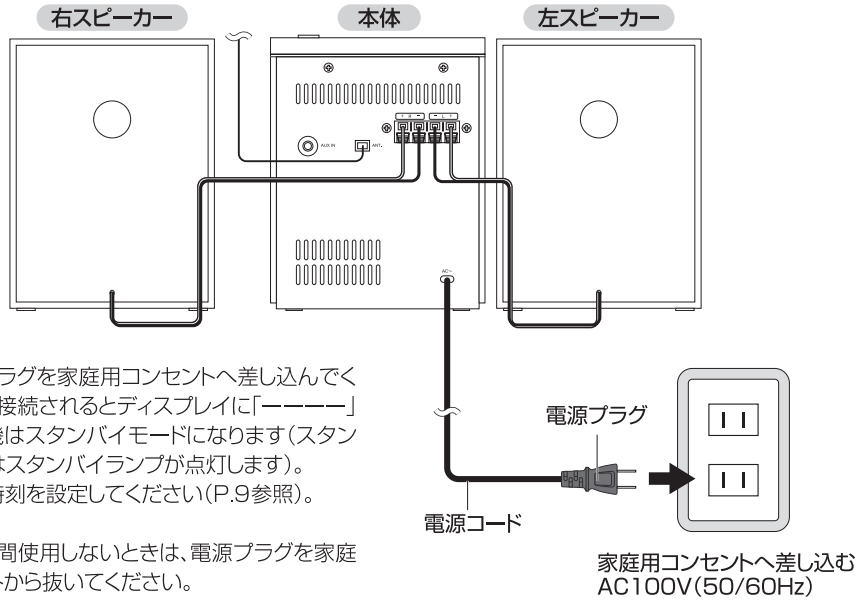
●左右のスピーカーから出ているスピーカーコードの先端（金属線部）を、本体背面の接続端子に接続します。黒／白のコードは赤色の接続端子（⊕）に、黒／黒のコードは黒色の接続端子（⊖）にそれぞれ接続します。
●接続端子のレバーを押し込むと端子部の穴が開きますので、コードの先端（金属線部）を差し込み、その後、レバーから指を離して閉じてください。
●FMワイヤーアンテナ（付属）を伸ばし、端子部を本体背面のFMワイヤーアンテナ端子に接続します。その後、最も良く聴こえる場所に、テープなどを使って反対側の先端を軽く留めます。





電源について

ご注意 必ず本体及びスピーカーを正しく接続してから行ってください。

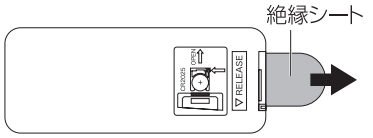


本体の電源プラグを家庭用コンセントへ差し込んでください。正しく接続されるとディスプレイに「ーーーー」が点滅し、本機はスタンバイモードになります(スタンバイモードではスタンバイランプが点灯します)。
続いて、現在時刻を設定してください(P.9参照)。

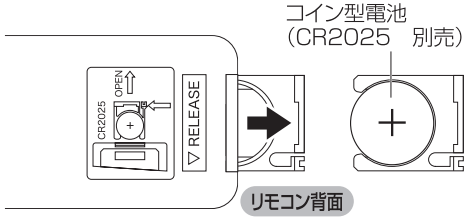
※本機を長期間使用しないときは、電源プラグを家庭用コンセントから抜いてください。

リモコン用コイン型電池について

●お買い求め時：リモコン背面の電池トレーに差し込まれている絶縁シートを引き抜くと、そのまますぐにお使いいただけます。

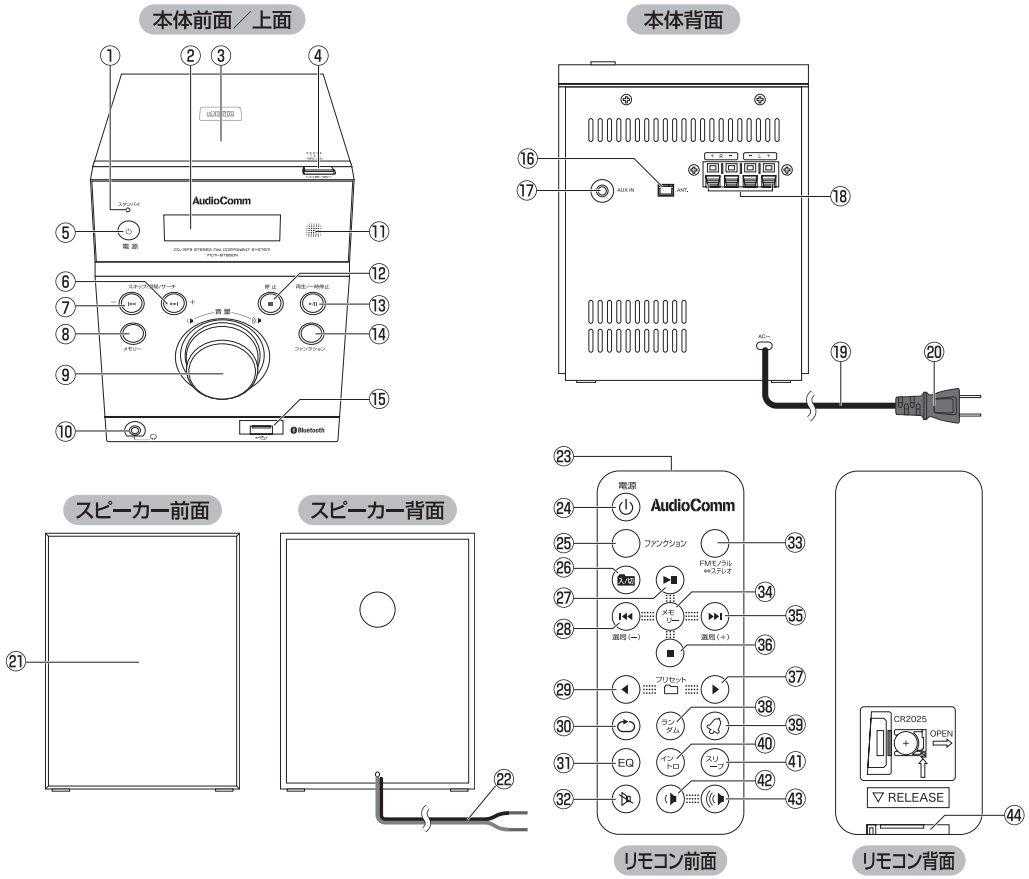


●交換するときは：
リモコンの操作距離が短くなったり、ボタンを押しても動作しなくなったときはコイン型電池の消耗が考えられます。新しいものと交換してください。



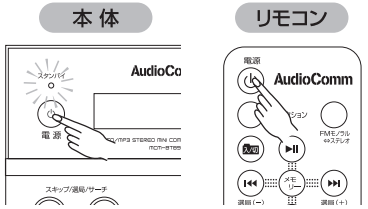
1. リモコン背面の電池トレーを引き出します。
2. コイン型電池(CR2025　別売)を+と書いてあるほうが上になるように、電池トレーに入れます。
3. 電池トレーを元通りに奥までしっかり差し込みます。

各部の名称



①スタンバイランプ
②ディスプレイ
③CD扉
④CD扉開ボタン
⑤電源ボタン
⑥スキップ／選局／サーチボタン(+)
⑦スキップ／選局／サーチボタン(−)
⑧メモリーボタン
⑨音量ツマミ
⑩ヘッドホン端子
⑪リモコン信号受信部
⑫停止ボタン
⑬再生／一時停止ボタン
⑭ファンクションボタン
⑮USB端子
⑯FMワイヤーアンテナ端子
⑰AUX IN(外部音声入力)端子
⑱スピーカー接続端子
⑲電源コード
⑳電源プラグ
㉑スピーカー
㉒スピーカーコード
㉓信号送信部
㉔電源ボタン
㉕ファンクションボタン
㉖フォルダーモード入／切ボタン
㉗再生／一時停止ボタン
㉘スキップ／選局／サーチボタン(−)
㉙プリセット／フォルダーボタン(◀)
㉚リピートボタン
㉛イコライザーボタン
㉜消音ボタン
㉝FMモノラル／ステレオボタン
㉞メモリーボタン
㉟スキップ／選局／サーチボタン(+)
㊱停止ボタン
㊲プリセット／フォルダーボタン(▶)
㊳ランダムボタン
㊴タイマーボタン
㊵イントロボタン
㊶スリープボタン
㊷音量ボタン(−)
㊸音量ボタン(+)
㊹電池トレー

スタンバイモードについて



●電源プラグを家庭用コンセントに差し込むと、本機はスタンバイモードになります。この状態で本体またはリモコンの電源ボタンを押すと、電源が入ります。

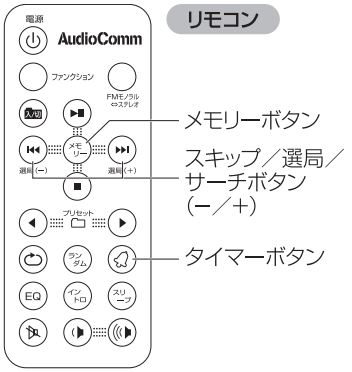
●もう一度押すと電源が切れ、スタンバイモードになります。

●スタンバイモードでは、スタンバイランプが点灯し、現在の時刻が表示されます（時刻が未設定の場合は「ーーーー」が点滅しますので、次項を参照して設定してください）。

ヒント 無動作状態が15分以上続くと、本機は自動でスタンバイモードになります（CDやUSBメモリーの場合は、15分以上停止状態または一時停止状態が続くとスタンバイモードになります）。

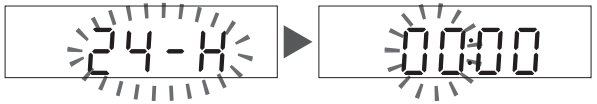
現在時刻を設定する

電源が入っているときは、電源ボタンを押しスタンバイモードにしてから操作してください。

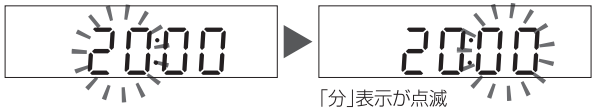


1 リモコンのタイマーボタンを押します。
「12-H」が点滅します。

2 スキップ／選局／サーチボタン(−／+)を押して12時間表示(12-H)または24時間表示(24-H)を選び、メモリーボタンを押します。
「00：00」が表示され、「時」表示の「00」が点滅します。

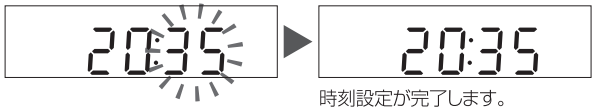


3 スキップ／選局／サーチボタン(−／+)を押して「時」を選び、メモリーボタンを押します。



「分」表示が点滅

4 同様に「分」を選び、メモリーボタンを押すと、時刻が確定します。



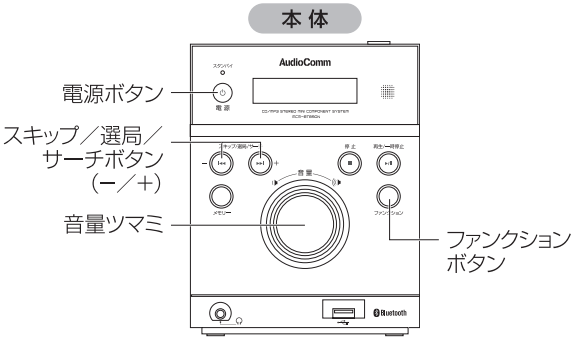
時刻設定が完了します。

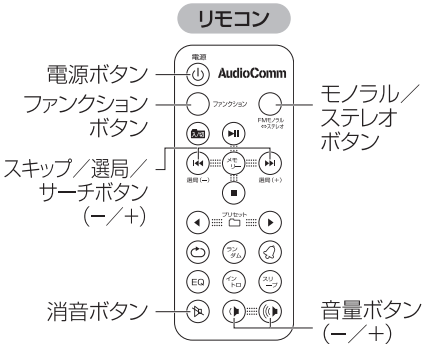
ヒント
電源オン時に現在時刻を確認するには／タイマーボタンを2秒間長押ししてください（約5秒間表示されます）。

ご注意 ●**約10秒間、ボタン操作をしない時間が続くと**／設定操作がキャンセルされます。最初からやり直してください。
●**電源プラグを外したときは**／時刻設定がリセットされますので、再設定が必要です。

FMラジオを聴く

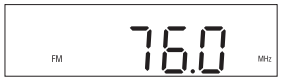
本機で受信できるのはFMラジオのみです（AMラジオは受信できません）。





1 電源ボタンを押して電源を入れます。

2 必要に応じてファンクションボタンを数回押し、FMラジオを選択します。
ファンクションボタンを押すたびに、周波数表示（FMラジオ）→bt（Bluetooth）→AUd（外部音声入力）→Cd（CD）→USb（USB）と切り換わります。



3 スキップ／選局／サーチボタン(−／+)を押して、お聴きになりたい放送局に周波数を合わせます。
スキップ／選局／サーチボタン(−／+)を短く押すと0.1MHzごとに送られます。長押ししてから指を離すと、周波数が自動で送られ、最初に受信した放送局で止まります。

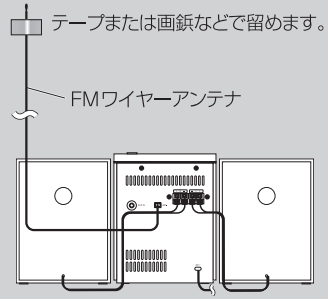
FMステレオ放送を良好な状態で受信すると、ST が点灯します。

4 音量ツマミまたは音量ボタン(−／+)で音量を調節します。
●00～30の間で調節できます。
●音量の上げすぎにご注意ください。
●リモコンの消音ボタンを押すと音を一時的に消します（音量レベル表示が点滅）。もう一度押すと再度出力します。

音量レベルは約2秒間表示されます。

5 終了するときは電源ボタンを押します。
「OFF」表示に続いてスタンバイモードになります。

ヒント
受信状態をよくするには
本体背面に接続したFMワイヤーアンテナを伸ばし、最も良く聴こえる場所にテープなどを使って軽く留めます。

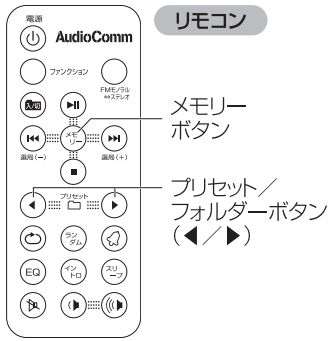


※移動させるときは、引っかかったり、本機との接合部が破損しないよう、FMワイヤーアンテナを壁などから外してください。

ヒント
モノラル／ステレオの切り換え
FMステレオ放送を受信時にリモコンのFMモノラル／ステレオボタンを押すと、ステレオ（ST）⇆モノラル（表示なし）の切り換えができます。

FMラジオを聴く（つづき）

メモリー選局　本機では最大30局のFMラジオ放送局を登録し、簡単に選んで聴くことができます。



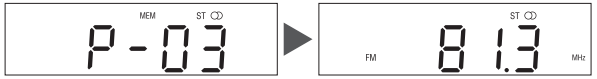
❶ メモリー登録したい放送局を受信します。

❷ メモリーボタンを押します。

「MEM」と「P-01」が表示され、そのうちの「01」が点滅します。

❸ リモコンのプリセット／フォルダーボタン（◀／▶）を押して、登録したいメモリー番号（P-01～30）を選びます。

❹ メモリーボタンを押します＝登録完了



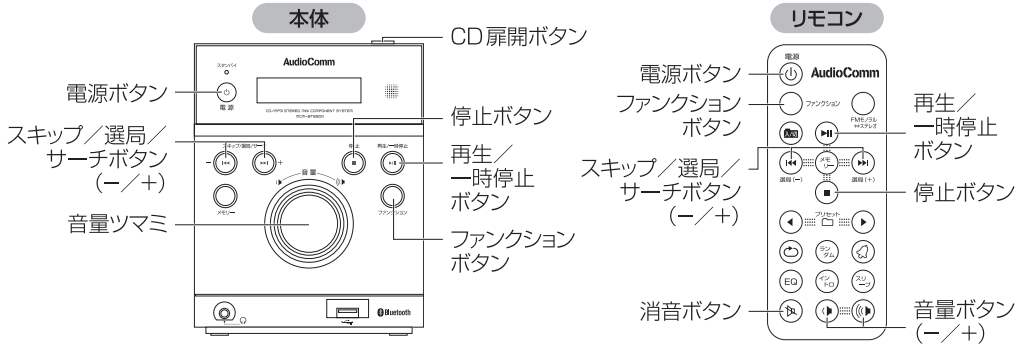
❺ メモリー登録した放送局を受信するには、リモコンのプリセット／フォルダーボタン（◀／▶）を数回押して、お聴きになりたい放送局（メモリー番号）を選びます。

メモリー番号がしばらく表示された後、登録されている放送局を受信します。

ヒントとご注意

- **何も操作しない時間が約5秒間続くと**／設定操作がキャンセルされます。その場合は最初からやり直してください。
- **メモリー登録内容を変更するには**／一度登録した内容は削除することができません。ただし、ステップ❶～❹と同様の方法で新しい放送局を上書きすることは可能です。

CD、USBメモリーの音楽を聴く



❶ 電源ボタンを押して電源を入れます。

❷ ファンクションボタンを数回押し、CDを聴くときは「Cd」、USBメモリーの音楽を聴くときは「USb」を選択します。

ファンクションボタンを押すたびに、周波数表示（FMラジオ）→bt（Bluetooth）→AUd（外部音声入力）→Cd（CD）→USb（USB）と切り換わります。

CD

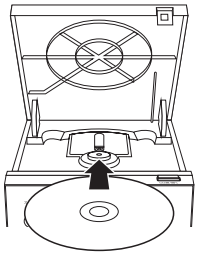
USB

❸ CDまたはUSBメモリーをセットします。

正しくセットすると「LOAd」と表示されて読み取りが始まり、メディアに応じて総曲数などが表示されます。

CDの場合

本体上部のCD扉開ボタンを押してCD扉を開け、レーベル面（印刷面）を上にしてCDをセットします。セットし終えたら、CD扉の「閉じる」部をカチッと音がするまで押して、CD扉を閉めてください。



Audio CDの場合は、読み込み後、収録時間に続いて総曲数が表示されます。

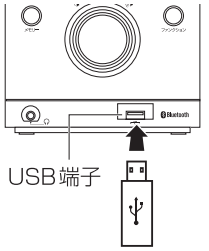
MP3（CD-R／ RW）の場合は、読み込み後に総曲数が表示されます。またファイル形式（MP3）が点灯します。

USBメモリーの場合

差し込む向きを間違えないように気をつけて、USBメモリーをUSB端子にしっかりと奥まで装着してください。

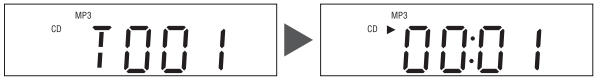
読み込み後に総曲数が表示され、ファイル形式（MP3）が点灯します。

※USBメモリー以外（MP3プレーヤー、PCなど）は非対応です。



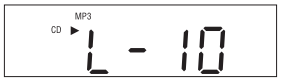
❹ スキップ／選局／サーチボタン（−／+）を押して曲を選び、再生／一時停止ボタンを押します＝再生開始

再生中は経過時間が表示されます。



❺ 音量ツマミまたは音量ボタン（−／+）で音量を調節します。

- 00～30の間で調節できます。
- 音量の上げすぎにご注意ください。
- リモコンの消音ボタンを押すと音を一時的に消します（音量レベル表示が点滅）。もう一度押すと再度出力します。



音量レベルは約2秒間表示されます。

❻ 終了するときは、停止ボタンを押して再生を停止した後、電源ボタンを押します。

「OFF」表示に続いてスタンバイモードになります。

ご注意 USBメモリーを取り外すときは、電源ボタンを押してスタンバイモードにするか、USB以外のファンクションに切り換えてから行ってください。USBを選択中に取り外すとデータを破損するおそれがあります。

次ページに続く 12

ヒント 再生時のボタン操作について

ボタン	停止中に押す	再生中に押す	再生中に長押しする
スキップ／選局／サーチボタン(+)	次の曲を選択	次の曲に移動して再生	聴いている曲が早送りされます。指を離した時点から再生を再開します。
スキップ／選局／サーチボタン(−)	一つ前の曲を選択	曲の頭に戻って再生。2回続けて押すと、ひとつ前の曲に戻って再生します。以降、押すごとに前の曲に戻って再生します。	聴いている曲が早戻しされます。指を離した時点から再生を再開します。

※早送り、早戻し時は断片的に聴こえる再生音と経過時間表示を見ながら操作してください。

ボタン	機　能
再生／一時停止ボタン	再生⇆一時停止 ※一時停止中は一時停止マーク（❚❚）が表示され、経過時間表示が点滅します。
停止ボタン	再生を停止
音量ツマミ 音量ボタン(−／+)	音量を調節（00〜30）
消音ボタン （リモコンのみ）	音を一時的に消します（もう一度押すと再度出力します）。

ヒント フォルダーモードについて

フォルダーモードでは、フォルダー階層を持つCD-R ／ RWやUSBメモリーを装着した場合に、フォルダーを指定して再生する曲を選ぶことができます。

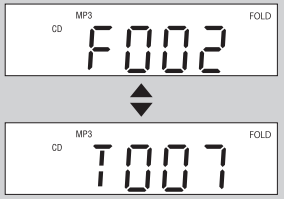
1 フォルダーモードにするには、再生停止時にフォルダーモード入／切ボタンを押します。

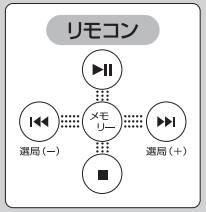
フォルダーモード／入のときは、総フォルダー数（Fを頭文字とする数字）とフォルダーマーク（FOLD）が表示されます。

※再生中はフォルダーモードの入／切はできません。

2 プリセット／フォルダーボタン（◀／▶）を押してフォルダー番号を選びます。

フォルダー番号を選択し、そのまま何もしないときは、フォルダー番号とフォルダー内の曲数（Tを頭文字とする数字）が交互に表示されます。



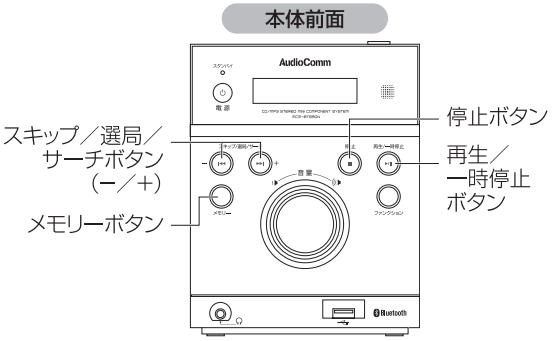


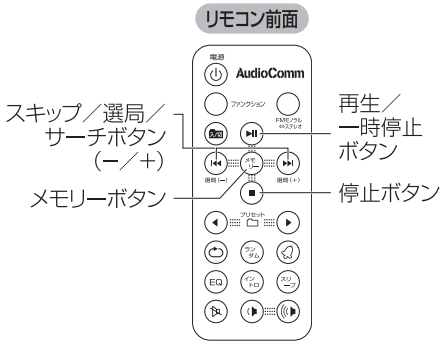
3 スキップ／選局／サーチボタン(−／+)を押して再生したい曲番号を選び、再生／一時停止ボタンを押します=再生開始

※通常のモード（フォルダーモード／切）では、メディア内の全曲に対して通し番号（曲番号）が割り振られますが、フォルダーモードの場合はフォルダー番号が順に振られ、フォルダーごとに曲番号が割り振られます。
※本機はID3タグ表示には対応しておりません。

プログラム再生　登録は再生停止時に行ってください。

本機では、Audio CDで最大32曲、MP3（CD-R ／ RW、USBメモリー）の場合は最大64曲までお好きな曲順を登録して再生することができます。



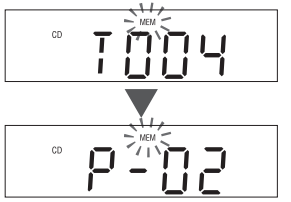


1 再生停止中に、メモリーボタンを押します。

「P-01（プログラム番号）」が表示され、「MEM」が点滅します。

2 スキップ／選局／サーチボタン(−／+)を押して、登録したい曲番号を選び、メモリーボタンを押します。

1曲目の登録が終わると「P-02」へと表示が変わり、2番目に登録したい曲を選べるようになります。



3 登録したい曲順で、ステップ2の操作を繰り返します。

4 登録がすべて終わったら、再生／一時停止ボタンを押します=プログラム再生開始

プログラム再生時は「MEM」マークが表示されます。

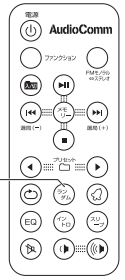
ヒントとご注意

- 何も操作しない時間が約15秒間続くと、それまでにプログラム登録された曲数が「P04」などのように表示されます。この状態でメモリーボタンを押すと、次の曲順からプログラム登録を再開できます（未登録の場合はキャンセルになります）。
- MP3（CD-R／RWやUSBメモリー）の場合は、フォルダーモードでのプログラム登録も可能です（P.13参照）。ただし、プログラム登録中にフォルダーモードの入／切を変更することはできません。
- メディアをまたいでのプログラム登録はできません。
- プログラム再生時に停止ボタンを1回押すと、再生が停止しプログラム登録数が表示されます（例:P05）。この状態で再生／一時停止ボタンを押すと、最初からプログラム再生が始まります。
- 以下の場合、プログラム内容が破棄されます。
  ・プログラム再生時に停止ボタンを2回続けて押したとき　・CD扉を開けたとき
  ・他のファンクションに移行したとき　・電源を切ったとき
- プログラム再生時にリピートボタンを1回押すと再生中の曲を繰り返し再生します。もう一度押すと、プログラム登録された全曲を繰り返し再生します。さらにもう一度押すと、通常のプログラム再生に戻ります。

CD、USBメモリーの音楽を聴く（つづき）

ランダム再生

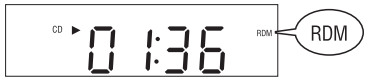
リモコン



ランダムボタン

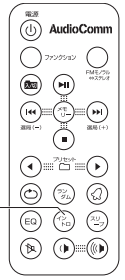
ランダムボタンを押すと、メディア内の曲をランダムに再生します（フォルダーモード／入時はフォルダー内のランダム再生になります。ランダム再生中はディスプレイに「RDM」が表示されます。

- ●停止中に押したときは、ランダムに曲が選ばれて再生が始まります。
- ●再生中に押したときは、次の曲がランダムに選ばれて再生が始まります。
- ●ランダム再生を中止し通常の再生に戻るには、もう一度ランダムボタンを押して「RDM」を消してください。



イントロ再生

リモコン



イントロボタン

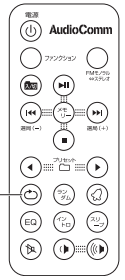
イントロボタンを押すと、メディア内の１曲目から全曲を最初の１０秒ずつスキップ再生します。イントロ再生中はディスプレイに「INTRO」が表示されます。

- ●停止中に押したときは、１曲目からイントロ再生が始まります。
- ●再生中に押したときは、１曲目に戻ってイントロ再生が始まります。
- ●イントロ再生を中止し通常の再生に戻るには、もう一度イントロボタンを押して「INTRO」を消してください。

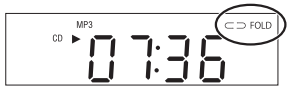
リピート再生

メディアの種類やフォルダーモードの入／切により動作が異なりますので、以下を参照して操作してください。
※以下は再生中にリピートボタンを押した場合の動作です。停止中の場合は、リピート設定後、再生／一時停止ボタンを押して再生を開始してください。

リモコン



リピートボタン



Audio CDの場合

リピートボタン	ディスプレイ表示	動作
１回押す	⊂	聴いている曲を繰り返し再生
２回押す	⊂⊃	メディア内の全曲を繰り返し再生
３回押す	表示オフ	通常再生に戻る

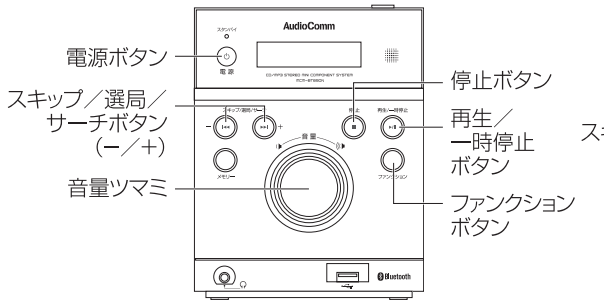
MP3（CD-R/RWやUSBメモリー）でフォルダーモード／入の場合

リピートボタン	ディスプレイ表示	動作
１回押す	⊂ FOLD	聴いている曲を繰り返し再生
２回押す	⊂⊃ FOLD ※点滅	フォルダー内の全曲を繰り返し再生
３回押す	⊂⊃ FOLD	メディア内の全曲を繰り返し再生
４回押す	表示オフ	通常再生に戻る

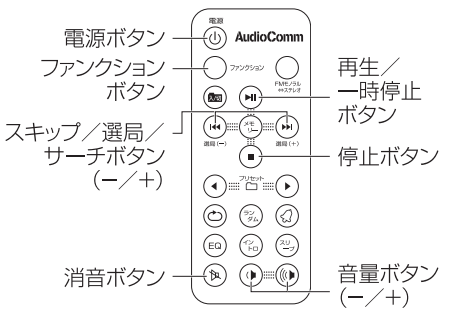
Bluetoothで音楽を聴く

本機では、離れた場所にあるBluetooth対応機器（タブレット端末や携帯電話、スマートフォン、Bluetooth対応音楽プレーヤーなど：以下、相手側機器と言います）の音楽をワイヤレスで聴くことができます。
Bluetoothを使うには、はじめにペアリング（本機を相手側機器に登録すること）を行う必要があります。

本体



リモコン



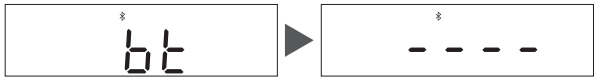
ペアリングのしかた

❶ ペアリングしたい相手側機器を本機と1m以内の場所に置き、Bluetooth機能を有効にします。

右記はBluetoothを設定するためのスマートフォンのメニュー例です。お使いのBluetooth機器またはソフトウェアのバージョンによって表示が異なります。詳しい操作方法はご使用の機種に付属する取扱説明書をご確認ください。

iPhone	設定
Android	設定
Windows mobile	設定
NTT docomo	LifeKit
SoftBank	設定
au	Bluetooth

❷ 本機の電源を入れた後、ファンクションボタンを数回押して「bt」（Bluetooth）を選びます。



「bt」の表示に続いて、「ーーーー」が点滅し、相手側機器を探している状態になります。

❸ 相手側機器で、ペアリング操作を行ってください。

- ●本機名「MCM-BT890N」が相手側機器で表示されたら、それを選択して登録します。正しく接続されると本機のディスプレイに「Conn」が表示されます。

- ●機種によっては、パスキーやPINコードの入力を求められる場合があります。その場合はいずれも「0000」と入力してください（詳細はBluetooth機器に付属する取扱説明書をご参照ください）。
- ●プロファイルの選択が必要な場合は、A2DP、AVRCPを選んでください。

ご注意

- ●**「ーーーー」表示が点滅しているときは**／接続中の相手側機器が接続可能範囲外に出たり、途中で相手側機器のBluetooth機能が無効になったことが考えられます。
  - ・相手側機器との距離を確認する
  - ・ファンクションボタンを押して他のファンクションに移行し、さらに数回押してもう一度「bt」に合わせる
  - ・相手側機器で本機の登録をいったん削除し、再度ペアリングする　などを行ってみてください。
- ●**相手側機器が他の機器とBluetooth通信を行っているときは**／本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との通信を中止したうえで、上記の操作を行ってください。
- ●**本機と相手側機器が自動接続されないときは**／ Bluetooth機器付属の取扱説明書も参照しながら必要に応じて接続操作を行ってください。

Bluetoothで音楽を聴く（つづき）

再生するときは

❶ Bluetooth機器側で再生などの操作をしてください。また、本機でも以下の操作が可能です。

ボタン	機　能
再生／一時停止ボタン	再生⇆一時停止
スキップ／選局／サーチボタン(+)	次の曲へスキップ
スキップ／選局／サーチボタン(−)	一つ前の曲へスキップ（2回続けて押すと、一つ前の曲に戻る）
音量ツマミ・音量ボタン(−／+)	音量を調節　※相手側機器の音量が最小や消音のときは聴こえません
消音ボタン	音を一時的に消します（もう一度押すと再度出力します）

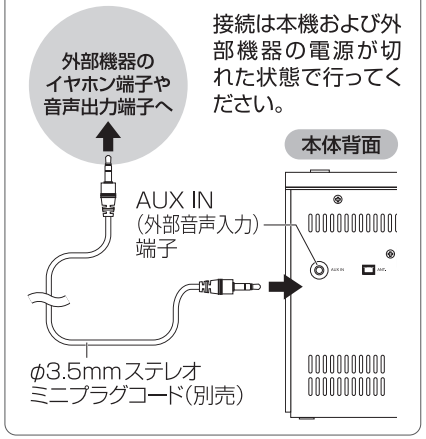
❷ 終了するときは電源ボタンを押します。
「OFF」表示に続いてスタンバイモードになります。必要に応じて、Bluetooth機器側の電源も切ってください。

ヒントとご注意
- Bluetooth再生時は、早送りや早戻しはできません。
- 停止ボタンを押すとBluetooth接続が解除されます。
- 他のファンクションが選ばれているとき（2回目以降に電源を入れたときなど）は／ファンクションボタンを数回押して「bt」（Bluetooth）に合わせたうえで操作してください。
- 相手側機器で登録を削除したときや、使用中に正常に動作しなくなったときは／正しくペアリングをし直してください。相手側機器に付属する取扱説明書もご参照ください。

外部機器の音楽を聴く

AUX IN（外部音声入力）端子を使い、携帯音楽プレーヤーやMDプレーヤーなどの音楽を本機で楽しむことができます。図を参照して、正しく接続してから操作してください。

外部機器と接続方法



❶ 電源ボタンを押して電源を入れます。

❷ ファンクションボタンを数回押し、「AUd」（外部音声入力）」を選択します。

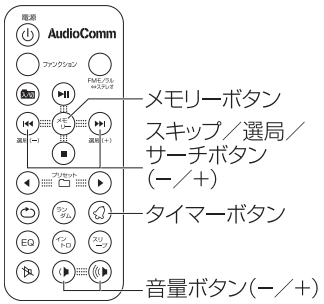
❸ 外部機器側で再生などの操作をします。
音量の調節は、本機・外部機器のどちらでも可能ですが、できるだけ本機の音量は一定に保ち、外部機器側で操作するようにしてください。本機の音量設定を大きくしすぎると、他のファンクションに移行したとき、思わぬ大音量になるおそれがあります。

❹ 終了するときは電源ボタンを押します。
「OFF」表示に続いてスタンバイモードになります。外部機器側の電源も切った後に接続を解除してください。

ヒントとご注意
「AUd」（外部音声入力）は連続使用240分でスタンバイモードになります。それを超えて使う場合は、再度最初から操作してください。

タイマー

リモコン

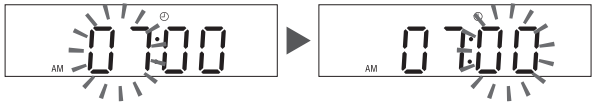


※タイマーボタン以外は本体でも操作できます。

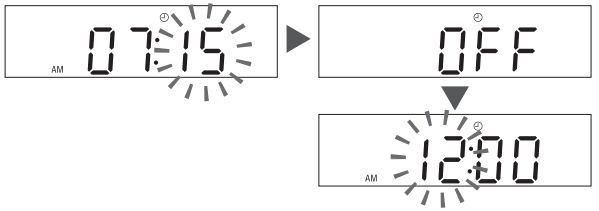
タイマー起動時刻、終了時刻、起動ファンクション、音量を設定し、アラームとして使用できます。

❶ スタンバイモードにて、「On」が表示されるまでタイマーボタンを長押しします。
「On」が表示されたら指を離します。「On」に続いてディスプレイは起動時刻の設定画面になります（上部に「◴」が表示されます）。

❷ スキップ／選局／サーチボタン(−／+)を押して起動時刻の「時」を選び、メモリーボタンを押します。
メモリーボタンを押すと分表示の「00」が点滅します。



❸ 同様に起動時刻の「分」を選び、メモリーボタンを押します。
メモリーボタンを押すと、一時的に「OFF」が表示された後、タイマー終了時刻の設定画面になります。



❹ ステップ❷〜❸と同様の操作で、タイマー終了時刻の「時」と「分」を設定します。

❺ スキップ／選局／サーチボタン(−／+)を押してお好みのファンクションを選び、メモリーボタンを押します。
起動ファンクションは「Cd」（CD）、「USb」（USBメモリー）、「tU」（FMラジオ）、「bt」（Bluetooth）から選べます。
※「tU」（FMラジオ）を選んだ場合は、メモリーボタンを押すと「P-01」（プリセット番号）が表示されますので、スキップ／選局／サーチボタン(−／+)を押して任意の放送局を選び、再度メモリーボタンを押してください。

❻ 音量ボタン(−／+)を押してタイマー起動時のお好みの音量を選び、メモリーボタンを押します。
メモリーボタンを押すと、タイマー起動時刻、終了時刻、起動ファンクション、音量の設定内容が順に表示され、タイマー設定が完了します（現在時刻表示に戻ります）。

ヒントとご注意
- 現在の時刻が設定されていないとタイマー設定ができません。P.9を参照して正しく設定してください。
- 電源オン時はタイマー設定ができません。スタンバイモード時に行ってください。
- 起動ファンクションごとに以下の準備をした上で、タイマー設定を行ってください。
  【CD・USBメモリーの場合】
  それぞれのメディアを本機に正しくセットしてください（P.12参照）。
  【FMラジオの場合】
  起動時に受信する放送局をメモリー登録してください（P.11参照）。
  【Bluetoothの場合】
  ペアリングを行い、接続可能範囲内にBluetooth機器を置いてください（P.6、P.16〜17参照）。
- 何も操作しない時間が約10秒間続くと設定操作がキャンセルされます。その場合は、最初からやり直してください。

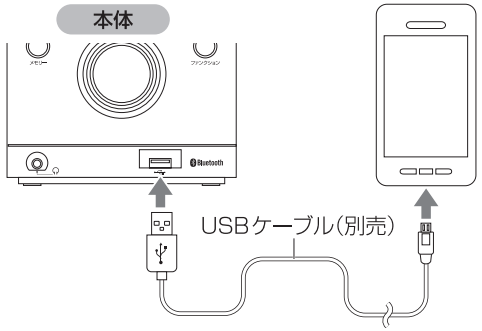
タイマー（つづき）

ヒントとご注意

タイマー起動時刻になると自動でファンクションが起動し、終了時刻になるとスタンバイモードになります。
●この状態のままだと翌日の同じ時刻に再度起動します。タイマーの起動を解除したいときは、メモリーボタンを長押しして「◴」マークを消してください。
●再度設定したいときは、ステップ❶～❻と同じ方法で操作してください。

スマートフォンなどを充電する

本機のUSB端子を使って、スマートフォンなどの充電が可能です。
●お手持ちのスマートフォンに適応したUSBケーブル（別売）を使い、図の通りに接続してください。



スマートフォンなどへ充電する際は、本機の電源を入れ、ファンクションを「bt」（Bluetooth）または「USb」（USB）にしてください。それ以外のファンクションでは充電されません。

ご注意 本機の出力電圧は5V 500mAです。機器によっては充電に時間がかかったり、充電できない場合があります。

スリープ

リモコン

FMラジオや音楽再生時に、自動電源オフまでの時間を設定できます。
スリープボタンを押すたびに、90～00まで10分刻みで表示が変化しますので、お好みの時間を設定してください。スリープ設定時は「☕」が表示されます。
●スリープ設定後にもう一度スリープボタンを押すと、電源オフまでの残り時間を約2秒間表示します。
●スリープを解除するには、電源ボタンを押して電源を切るか、「00」が表示されるまで、スリープボタンを数回押します。

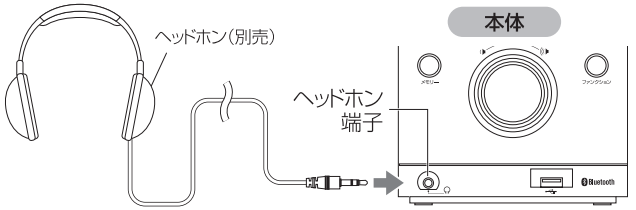
イコライザー

リモコン

FMラジオや音楽再生時の音色を変更することができます。イコライザーボタンを押すたびに、
「ROCK」→「CLASSIC」→「POPS」→「JAZZ」→ノーマル（表示なし）に変化します。

ヘッドホンで聴くときは

ヘッドホン（別売）のプラグ（φ3.5mmミニプラグ）を、前面のヘッドホン端子に接続します。接続するとスピーカーからの音は出力されなくなります。



故障かなと思ったら

症　状	確　認　事　項
電源が入らない	●電源プラグが本機および家庭用コンセントにしっかりと接続されていますか。 ●（リモコン操作時）リモコンの電池は正しく装着されていますか。 ●（リモコン操作時）リモコンの電池が消耗していませんか。 ●（リモコン操作時）本体との距離が離れすぎていませんか。
音が出ない	●電源が入っていますか。 ●メディアに合わせたファンクションが正しく選ばれていますか。 ●CDやUSBメモリーが正しく装着されていますか。 ●音量が最小または消音になっていませんか。 ●（Bluetooth接続時）ペアリングは正しく行いましたか。 ●（Bluetooth接続時）Bluetooth機器の設定は正しくなされていますか。 ●（Bluetooth接続時）Bluetooth機器との接続が解除されていませんか。 ●（Bluetooth接続時）Bluetooth機器側の音量が最小または消音になっていませんか。
Bluetooth接続時に音が途切れる	●本機とBluetooth機器が10m以上離れていませんか。 ●本機とBluetooth機器の間に遮蔽物がありませんか。 ●周囲で無線LAN機器や電子レンジ等の電波を発する機器、Bluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。 ●周囲に無線機を使う施設や放送局がありませんか。
ラジオ時に雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか（本機から携帯電話を離してご使用ください）。
CDが再生されない	●ファンクションが正しく選ばれていますか。 ●ディスクが裏返しになっていませんか。 ●ディスクの信号面に汚れやキズがありませんか。 ●レンズが結露もしくは汚れていませんか。 ●音量が最小または消音になっていませんか。
USBメモリーの音楽が再生されない	●メディアに合わせて、ファンクションが正しく選ばれていますか。 ●メディアがUSB端子に正しく装着されていますか。 ●規格外のメディアを使用していませんか。 ●音量が最小または消音になっていませんか。
スマートフォンなどへの充電が始まらない	●ファンクションが「bt」（Bluetooth）、「USb」（USB）以外ではありませんか。 ●機器に対応したUSBケーブルを使っていますか。 ●本機規格を超える電圧・電流が必要な機器に充電しようとしていませんか。

※Bluetooth接続時に不具合が起きた場合、本機以外に相手側機器側に原因があることも考えられます。Bluetooth機器を単独で使用したときに同様の症状が出るかどうかもご確認ください。

主な仕様

Bluetooth 部

適合規格	Bluetooth Ver. 3.0 +EDR
伝送方式	FHSS
周波数範囲	2.402GHz～2.480GHz
通信距離	最大約10m（理論値：使用環境により異なります）
送信出力	Class2
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
対応機種	●Bluetoothに対応したタブレット端末、携帯電話、スマートフォン、パソコン、デジタルオーディオ等 ●市販のBluetooth対応アダプターを接続してBluetooth機能を有したパソコン、デジタルオーディオ等 ●ワンセグ音声対応（SCMS-T対応） ●音声出力端子またはイヤホンジャック（φ3.5mmステレオミニプラグ）を備えたオーディオ機器。ただし、AUX IN（外部音声入力）端子による有線接続となります。 ※本機はすべてのBluetooth機器に対する動作保証をするものではありません。

本体・スピーカー部

電源	AC100V（50/60Hz）
	リモコン　DC3V　CR2025×1個（テスト用電池装着済み）
定格消費電力	26W
実用最大出力	5W×2（r.m.s）
周波数特性	20～20,000Hz
スピーカー	口径90mmフルレンジスピーカー（6Ω）×2
ラジオ周波数	FM 76.0～90.0MHz（100kHzステップ）
入力端子	AUX IN（外部音声入力）端子：φ3.5mmステレオミニプラグ
	USB端子：USB Mass Storage、USB1.1/2.0
対応メディア	CD：Audio CD、CD-R、CD-RW
	USBメモリー：512GBまで
USB出力電圧	5V　500mA
フォルダー・ファイル	99フォルダー（最大8階層）／999ファイル
対応フォーマット	MP3（ビットレート：32～320kbps）　VBR対応 ※DRM付きファイルの再生はできません。
外形寸法	本体：幅135mm×高さ170mm×奥行186mm（突起物含まず）
	スピーカー（1個当たり）：幅130mm×高さ170mm×奥行115mm（突起物含まず）
質量	約4.2kg（本体：約2.6kg　スピーカー1個当たり：約0.8kg）
付属品	リモコン、FMワイヤーアンテナ、取扱説明書（保証書付）

※Bluetooth 及び Bluetooth ロゴは米国 Bluetooth SIG,Inc. の商標で、オーム電機はライセンスに基づき使用しています。
その他、本書に記載されている商品名、システム名、社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。
※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
※本製品は、特定無線設備として日本国電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を受けております。

お手入れのしかた

●本体のクリーニング

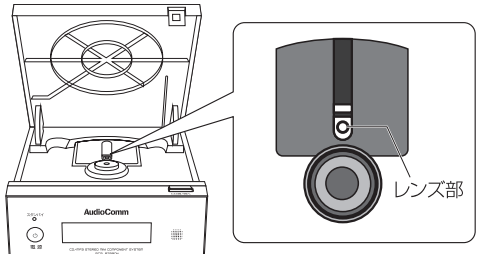
本体、リモコンの表面の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ、軽く拭いた後で乾拭きしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、
アルコールは
使用しないでください。

●CDレンズ部のクリーニング

レンズの汚れは音飛びなど正常な再生ができなくなる原因となります。CD扉を開け、レンズについたホコリやゴミを市販のブロワー（エアスプレー）でクリーニングしてください。

※布や綿棒などをレンズに当てないでください。故障の原因となります。



保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。